

支部からのお知らせ

HOME > 支部からのお知らせ (top) > JIA近畿会報バックナンバー > 【連載】住宅部会通信2009

投稿：2009年8月3日
by【編集】

【連載】住宅部会通信2009

ポスト

シェアする

セミナー「ある日の村野藤吾」

住宅 1

執筆者：多田将宏
(エムカーヴェー一級建築士事務所)
講師：写真家 村野敦子氏
【担当世話人】杉元孝治/多田将宏
【日時】2009年6月25日 (土)
【参加者】60名

去る6月25日、INAX大阪ショールーム会議室において、セミナー「ある日の村野藤吾」が行われた。93歳で亡くなるその日まで、生涯現役を貫き通した寡黙な建築家・村野藤吾。その内的世界が綴られた日記と手紙を、祖父の作品と向き合いながら撮り下ろした写真とともに初公開した著書「ある日の村野藤吾」を昨年上梓された、孫である写真家・村野敦子さんを講師に迎え、作品の写真を紹介しながら、祖父である建築家・村野藤吾について語っていただくという趣旨で企画された。当日は、JIA会員、一般あわせて60名の参加で盛会のうちに終わった。

住宅 2

「ある日の村野藤吾」村野敦子編／写真 出版社：六耀社 2800円 (税別)

第一部は村野さんが今回のために特別に製作された、10分程度のDVDが上映され、著書の中の写真を中心とした村野作品が、静かなBGMの中でゆったりと映し出された。そして著書の出版のきっかけや、ファインダー越しに見える村野作品について、その時何を感じ考えてシャッターを切ったかを語られた。階段の手摺など、人間との接点であるディテールにこだわり抜かれた空間の魅力を見事に捉えたカメラのレンズは、実は建築写真でよく使われる広角ではなく、そのほとんどが人の目に近い標準レンズで撮影されていた。

第二部では、前もって参加者から寄せられた、生前の村野藤吾の人となりについての質問を、住宅部会の八木代表世話人がインタビュー形式で問い、順に答えて頂いた。当日、思いがけず村野さんのお母様と、当時出入されていたお手伝いの方、晩年の村野藤吾と家具製作をされた近創の中村氏が、ゲストとして来て下さり、また違う角度からも貴重な証言を頂いた。

休日は何をしていたか、好きな食べ物、こだわり等、普段着の村野藤吾から、厳しく仕事に対する様子まで、多岐に渡る質問に丁寧に答えて頂いた。特に宝ヶ池プリンスホテルの設計過程を生々しく描写された、亡き父の手記の村野さんによる朗読は、当時の情景がすぐ目の前に思い浮かぶようで感慨深いものであった。

住宅 5 住宅 4 住宅 3

写真 (左・中央)「会場風景」

写真 (右)「村野藤吾先生お気に入りの村野敦子氏撮影の猫の写真」

語られた生前の様子からは、やはり仕事に対しては生涯とても厳しく、飽く無き追求をした、一人の表現者としての建築家像が確かにそこにあった。そしてそれは数々の建築作品を通して、今なお我々に時に厳しく、時に優しく語りかけてくる。

関連記事

- 2009年「夏号」コンテンツ (10.4)
- 【連載】住宅部会通信2009 (7.9)
- 【連載】住宅部会通信2009 (7.9)
- 【連載】住宅部会通信2009 (7.9)

カテゴリー;

- ▶ 支部からのお知らせ
- ▶ 会員専用
- ▶ JIA近畿会報バックナンバー

アーカイブ;

年月を選択

最新のお知らせ;

2026年2月9日
「あつまれ！けんちく女子」

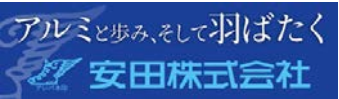
2025年8月18日
【申込延長9/30】JIAフィールドトリップ2025「熊本地震震災ミュージアムKIOKU」2024度 JIA日本建築大賞授賞作品講演会+建築見学会

2025年7月24日
若手建築家と共に考える万博と「これからの建築」

2025年7月22日
2025釜山国際建築大展（アイデアコンペ）1次審査結果（発表）

2025年6月29日
JIAヘリテージマネージャー養成講座

Q 検索



- ▶ 協力会員（メーカー）一覧はこちら
- ▶ バナー広告のご案内

建築をつくる仲間たち



Kansai Architect Grand Prize
関西建築家大賞 **Grand Prize**

Kansai Architect Rookie of the year award
Rookie 関西建築家新人賞